

製品名: MAPK7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81351**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	88.4kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK7
別名	BMK1; ERK4; ERK5; PRKM7
遺伝子 ID	5598.0
SwissProt ID	Q13164
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAPK7 (AA: 411-556) の精製された組み換え断片。

背景

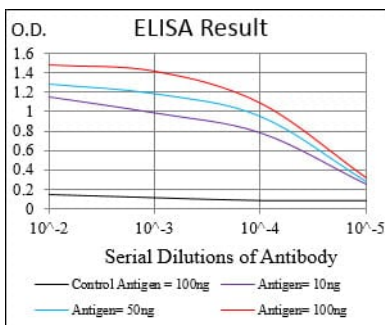
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAP キナーゼファミリーのメンバーです。MAP キナーゼは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは、マイト

ジェン活性化プロテインキナーゼキナーゼ 5 (MAP2K5/MEK5) によって特異的に活性化されます。受容体型キナーゼや G タンパク質共役受容体など、様々な受容体分子の下流シグナル伝達プロセスに関与しています。細胞外シグナルにตอบสนองして、このキナーゼは細胞核に移行し、そこで様々な転写因子をリン酸化および活性化することで遺伝子発現を制御します。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする4つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。

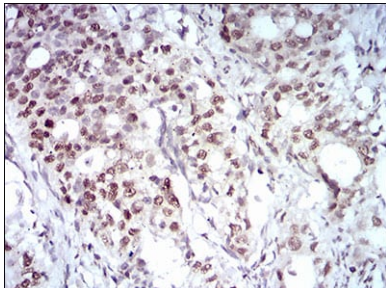
研究分野

-

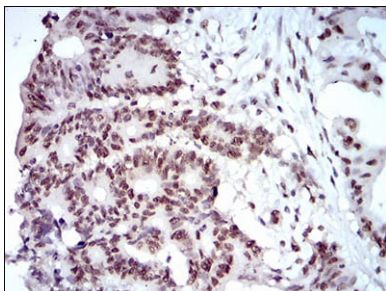
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



DAB 染色による MAPK7 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MAPK7 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。